

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	文化会館	事業No.	297	
事務事業名		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画		5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる		
			4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む		
			10	個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる		
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画			
			飯田市文化芸術振興基本方針			
		人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針				
法令・例規等						
事業目的	対象	市民				
	意図	人形劇フェスタのみならず、年間を通じて人形劇を鑑賞したり、体験したり、公演の企画運営を行い、人形劇のまちとしての魅力や価値を高めます。				

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・フェスタ2021は、R3.8.5~8.8の4日間でコロナ禍での開催となり、上演劇団及び観客を長野県内の方に限定し、55の劇団による112公演で、延べ5,290名の観劇者がありました。 ・公演事業では定期公演を、コロナによる中止もありましたが、計4回開催することができ、創造事業では、いいだ人形劇センタープロデュース「人魚姫」を、飯伊以外で初めて公演することで県民に人形劇文化を広くアピールできました。 ・伝統人形保存継承活動では、人形浄瑠璃後継者団体交流会を、竜峡中、高陵中を含む、南あわじ市、神奈川県及び徳島県の中高生など9校によりオンラインで開催し、日頃の活動紹介、意見交換などを行いました。		いいだ人形劇フェスタ開催事業負担金				8,992				
			「いいだ人形劇センター」活動支援負担金				11,000				
			人形劇公演・巡回公演事業負担金				2,762				
			人形劇講座・地域劇団、人形劇活動への支援				2,985				
			人形劇のまち国際化推進事業費				511				
			伝統人形芝居保存伝承活動への支援				2,575				
			「人形劇のまち飯田」運営協議会負担金				502				
			工作室改修工事				2,138				
			人形とけい塔設備保守委託料他				618				
			会計年度任用職員				1,916				
					その他の経費				0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	ワッペン期間中の観劇者数	人	15,000	5,290							
	人形劇公演(市・センター主催)観劇者数	人	4,000	5,595							
	人形劇講座開催数	回	80	101							
	伝統人形保存継承のための研修回数	回	19	3							
	国外劇団の公演数	数	6	0							
	学校人形劇に取り組んでいる学校数	校	23	23							
3年度決算(千円)	予算額	48,925	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	33,999	(そ) ふるさと寄附金								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	4,581								
	一般財源	29,418									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	1	14,679	14,258	人形劇のまちづくり推進事業費
2	1	10	5	7	13	4	18,000	8,992	いいだ人形劇フェスタ開催事業費
3	1	10	5	7	13	10	2,762	2,762	人形劇公演事業費
4	1	10	5	7	13	11	3,114	2,985	人形劇創造支援事業費
5	1	10	5	7	13	12	1,644	511	人形劇のまち国際化推進事業費
6	1	10	5	7	13	14	2,676	2,575	伝統人形芝居振興事業費
7	1	10	5	7	1	3	6,050	1,916	会計年度任用職員人件費
振り返り課題認識		・コロナ禍でもいいだ人形劇フェスタが開催できたことは、一定の成果があったと思われませんが、感染警戒レベルに応じて急遽、上演や観劇をお断りせざるを得なくなる等、全てのフェスタ参加者に迷惑をかけることになりました。 ・人形劇の公演、創造事業や伝統人形保存継承事業においても、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止となり、令和4年度はコロナ禍でも開催できる手段を関係団体と共に検討し実施していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・国や県が示す指針やガイドラインと共に、令和3年度にコロナ禍で実施してきた経験や他の事例を参考に、コロナ禍での開催に向けた取組方法を探っていく必要があります。							
次年度に向けての取り組み		・フェスタ2022は、新型コロナウイルス感染症対策として基本的な対策の他、簡易検査キットの活用による全国からの劇人や観劇者を迎えて開催ができるよう支援していきます。伝統人形の保存継承活動では、人形浄瑠璃後継者団体交流会に引き続き参加できるように竜峡中や高陵中の他、早稲田人形の阿南第一中、古田人形の箕輪中にも参加を呼びかけていきます。							